

あなたの心にジャストミート 7 月 14 日メッセージ  
御言葉に頼り (ヨシュア 21:43-45)

いまは、情報が氾濫している情報洪水時代です。その中で、信者は本当のことはなにか、うそはなにかを区別するだけではなく、神様が望まれることはなにかを見極めなければなりません。そのために、絶対的な真理はなにかを正しく知り、握って軸にしているべきです。その**唯一の絶対的な真理は聖書、つまり、神様のみことば**です。そのことを改めて確認しましょう。

きょうの本文では、神様がイスラエルの民にカナンの地を与えると約束してくださったのですが、その約束は、ひとつもたがわず実現したことが書かれています。いまを生きる信者の私たちは、神様のみことばは絶対的な約束であると理解しましょう。世の中には絶対的なものはありません。イスラエルの民は、みことばをもらったのに、信じませんでした。カデシュ・バルネヤから 12 人を偵察に送ったときも、カナンには入れないと不信仰になりました。荒野でも、エジプトに戻りたいと不平不満、つぶやきを繰り返しましたが、それでも、神様のみことばはすべて実現しました。荒野 40 年は、砂漠という劣悪な環境の中で、人は生き残れないと思われていましたが、それでも、約束のみことばは邪魔されことなく成就しました。カナンに入ってから、征服を邪魔する勢力が立ち向かってきて、敵との戦いもありましたが、それでも、神様のみことばはひとつもたがわず実現しました。みことばは神様の絶対的な約束です。草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことは永遠に立つ(イザヤ 40:8)。ハバクク預言者が神様になぜイスラエルの民はやられてばかりなのかと問うたときも、神様は、主のことは板に消えることがないように書き記しなさいと言われました。神様のみことばは、なにによっても邪魔されることがなく、そのとおりになるということです。邪魔があっても、そのすべてを用いて成就されます。その一番の証拠が、サタンがイエス・キリストを十字架にかけたことです。それを通して約束は成し遂げられました。そのように神様のみことばは、絶対的な神様の約束であり、必ず成し遂げられます。それがわからないと、情報に流されてしま

います。

神様のみことばはすべて実現しました。そのみことばの中のみことばは、創世記 3:15 です。罪人を愛して救ってくださるというみことばは、なにがあっても、邪魔されず、絶対に実現して成就しました。それがそのとおりに実現したのがマタイ 1:21 です。約束どおりインマヌエルの女の子孫キリストが来られました。そして、ヨハネ 19:30 で十字架で、救われるためのすべての約束を成就され「完了した」と言われました。その結果、割礼、努力、行いの法則、すべてがなくなって、イエスを信じる者が救われる、この約束が成就するよう

になりました。神様は、御子を信じる者がひとりとして滅びることなく永遠のいのちを持つようにしてくださり(ヨハネ 3:16)、義人は信仰によって生きるようにしてくださいました(ローマ 1:17)。どんな人であれ、だれでも、主の御名を呼ぶ者は救

われる(ローマ 10:13)ようになりました。みことばは絶対的な約束であり、キリストによってすべての預言が成就して完了したことを証明してくださったのです。ですから、クリスチャンの私たちは、条件、環境、人の声、理論、自分の心の声、感情もありますが、どれにも惑わされることがなく、他のなにも気にすることなく、この**神様のみことばに全幅の信頼を置く**ことが勝利の鍵であり、信者の特権です。

**すでに成就したみことば**があります。それによって自分を発見して、自分を改めましょう。いままでの教育、生きてくる間に学んだこと、それではなく、みことばに全幅の信頼を置いて、自分を改めましょう。イエスを信じる者は、すでに永遠のいのちが与えられています。過去、状況、環境は関係なく、罪と死の滅びの法則から、永遠に解放されて、二度と滅びることはありません(ローマ 8:1-2)。そして、十字架とともにすでに死んでいて、私の中にキリストが生きておられます(ガラテヤ 2:20)。すべて新しくなった者、それが自分です。これ以外の人

の声、自分の心からの声は、拒否して退けましょ

う。神の霊が宿る神の神殿です。たとえ刑務所の中

でも天にあるすべての霊的祝福を受けた者で

あり(エペソ 1:3)、義と認められ、栄光を与えられ、イエスと似た者と変えられています(ローマ 8:30)。すべての万物によって満たされるキリストのからだなる教会に(エペソ 1:23)すでになっています。イエスを信じると世の光となり、王である祭司になっています。このみことばに信頼するか、世の中の情報、自分の考えに流されるか、その戦いです。つまり、聖霊に導かれるか、悪魔に従うかの戦いです。悪魔はいつわりの父で、世の中はうその情報であふれています。

そのような祝福の神の子どもである私に**これから成就されるみことば**があります。そのみことばに全幅の信頼を置いて、方向を定めましょう。「あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださる…」(ピリピ 1:6)と言われているように、神様がキリストの日まで内側から整えて、修正していきやしてくださいます。いまの弱さ、問題は、悩むことではなく、いやされる材料です。あせらずに聖霊の満たし(使徒 1:8)を期待して、方向を合わせましょう。聖霊に満たされると、心から脳細胞にまで、オンリーの祝福が刻まれて、なにも問題にならないサミットに立つようになります。神様がなさること

に方向を合わせ、イエスの証人となります。イエ

スと似た者として、イエスのような働きをして、現場を生かす証人となります。どうするかを、心配したり考えることなく、みことばに信頼して、人生の方向を定めましょう。存在が世の光です。現場に派遣されて、光を放っている現場灯台です。死んでも天国に迎え入れられる(ピリピ 3:20)、ハッピーエンドの希望の中を歩みます。この世に執着しない、管理人の姿勢で、この世に必要な福音を伝えるために、この世の物は道具です。ですから、執着、争い、悪だくみ、比較、優越感、劣等感はまったく要りません。方向は天の御国で、たましいの救いです。

すべてのたましいが救われたら、イエスは再臨して来られます。そのあとは、新しい天と地になります。みことばに信頼しましょう。自分の評価基準をすべておろしましょう。そして、神様のみことばの上に立って、再評価しましょう。神様のみことばだけに、全幅の信頼を置きましょう。そのため、食事のたびに信仰の宣言をし、朝、目覚めたら信仰告白するようにしましょう。みことば以外は、信じず、考えず、神様のみことばに信頼する信者になるようにお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 21:43-45 御言葉を頼り

なるほど/情報洪水の時代の中で、唯一の真理であり、絶対的約束である神様の御言葉に全幅の信頼を置く信者は、世の流れに流されず、勝利者として証人の道を歩むことになる。ならば/すでに成就された御言葉に頼り自分を発見し改めて、これから成就する御言葉に頼り人生の方向を定めよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019 年 7 月 14 日)

1 部礼拝：病を背負ったキリスト (マタ 8:14-17)

今、世の中で人々に起きている 7 つの問題が幼いときに刻印されたことだということを知って、今年の夏が刻印、根、体質を変える答えの機会になりますように。レムナントたちがただキリストで刻印を変えて、サミットになり、世界的な人物になりますように。青年たちが神の国のみことばで根を下ろして、契約を握って世の中を生かしますように。壮年と重職者はただ聖霊の満たしで体質を変えて、残りの人生を新しく始めて、みんなを生かす大きな答えの門が開かれますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝：決して報いに漏れることはない (マタ 10:40-42)

貧しさや病気、精神病と霊的わざわいにあった全世界に福音を伝える教会、福音を伝える伝道者として召され、決して報いに漏れることがない祝福をくださり感謝します。正確な福音を知らずに危機にあった世界に向けて、正確な福音を持って伝えますように。行く場所ごとにもっとの必要なこと、福音で病気がいやされて、悪霊を追い出して、神の国が回復されますように。決して報いに漏れることがない預言者、伝道者、義人、弟子の報いを知って、まことの福音、まことの伝道、まことの宣教を回復する教会になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。